

# 敬語フレーズを持ち寄る帯活動の実践

徳間 晴美(明治学院大学)

## 1. はじめに

〈留学生の大学生活〉

1年次:

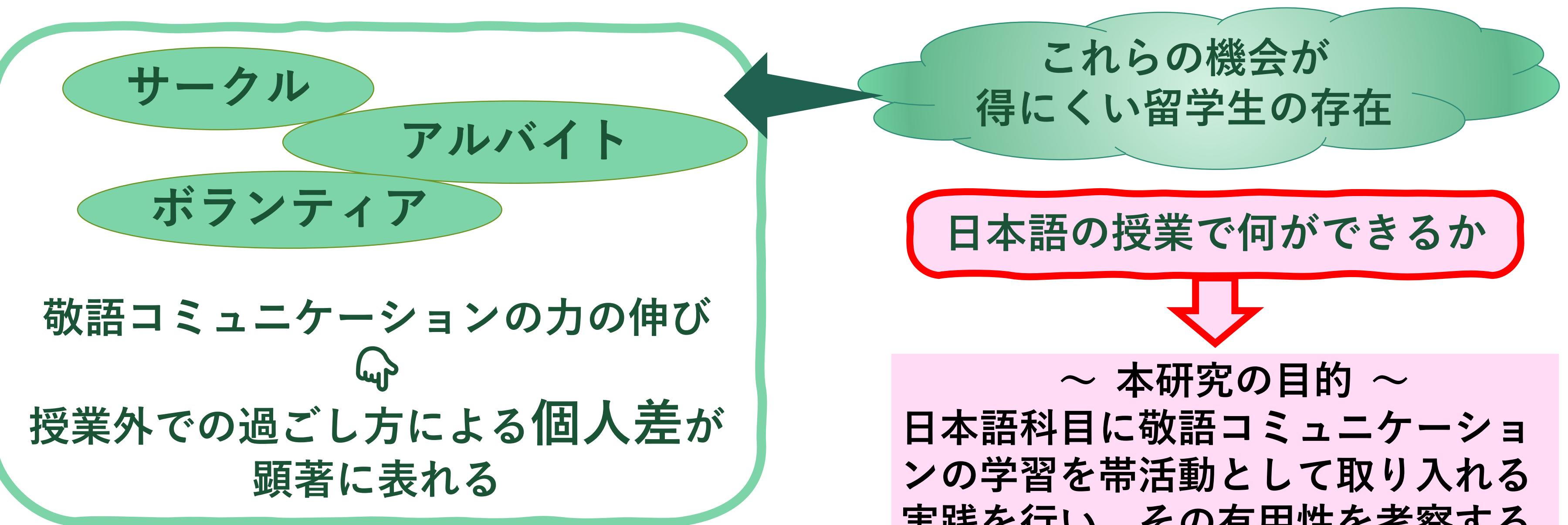
- 大学生活や授業の受講の仕方に慣れる
- 各科目の課題に取り組みながらアカデミック・ジャパンズの力を身につける

2年次~3年次:

- ゼミや卒業論文のテーマを検討する
- 進路を決めて具体的な準備を進める

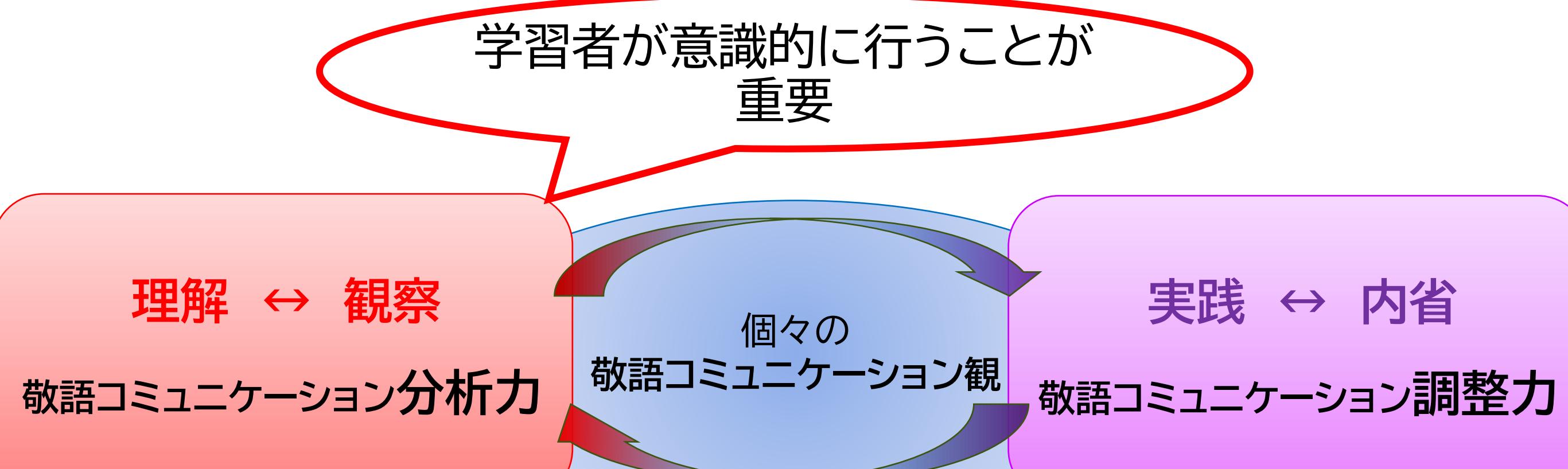
4年次:

- 卒業や就職・進学に向けて活動する



## 2. 敬語コミュニケーションの学びの過程

### 2.1 敬語コミュニケーション分析力



※ 待遇コミュニケーションの学びの過程(徳間 2025)に基づいた考え方

### 2.2 「0レベル」から敬語を捉える思考過程

敬語コミュニケーションにおいても、「意図」を捉えることが非常に重要である

〈意図を理解するステップ〉

「～てください」以外の尊敬語、謙譲語Ⅰ、謙譲語Ⅱ(丁重語)を使わず、「です」「ます」「～てください」が使われる文話レベル

0レベルで理解する

例) お名前をお書きください。 (+1レベル)  
⇒ 名前を書いてください。 (0レベル)

場面に応じてなされている配慮(高くする、あらたまるなど)を理解し受け止める

～本実践での活動～  
敬語フレーズの0レベルを捉えてから敬語を分析する帯活動

## 3. 敬語フレーズを持ち寄る帯活動

### 活動のねらい

- 日常の生活の中で目にしたり耳にしたりしている敬語フレーズをクラスで持ち寄り、意識的に考えてみること
- 敬語フレーズに関する理解を深めることで、コミュニケーションにおける配慮や相手の意図を適切に受け止められるようになり、自分の表現力を高めることにつなげること

### 授業の流れ

[授業前]

各週担当者がPadletに敬語フレーズを書き込む



[授業冒頭の活動時間]

Padletの書き込み済み画面を印刷したプリント(×モスペース入り)配布

→〈個人〉

気づいたこと(動詞の主語が誰か/0レベルの文は正しいかなど)をメモする

→〈母語が同じ留学生グループ2~3名〉確認/相談

→〈クラス全体〉各グループで話題になった点/迷った点を共有

→ 敬語に関する説明を補い理解を深める

科目 :ビジネス日本語を主に扱う科目(上級レベル、90分×15週)  
履修者 :大学2年生~4年生、14名(母語:中国語14名、韓国語3名)  
活動実施週:2025年度春学期 2週目~9週目

### Padlet 敬語フレーズ ♦ 持ち寄り箱 ♦

見つけた! 聞いた! をシェアしよう

タイトル: 名前+書き込み回数

説明

敬語フレーズを一文入れて、ハイライトにする。

いつ、どこで、誰が、誰に、何を伝えるフレーズだったかを書く。  
★0レベル(敬語ではない表現)を書き、ハイライトにする。

間違えてもいいので、予想して書きましょう!

サンプル

徳間①

学生証はお持ちですか。

いつ: お昼休み、どこで: 教務課窓口、誰が: 大学職員、誰に: 私(学生)、何を: 学生証を持っているかの確認

★学生証は持っていますか。

## 4. 結果と考察

その場で本人に確認できる

段階的な思考過程が習得できる

- 敬語フレーズをまず場面と結び付け、0レベルで意図を捉えた後、人間関係と配慮の方向を考えて敬語を分析することができる。  
⇒敬語コミュニケーション分析力の向上につながる。

例)「よろしければ何かお持ちしましょうか。」

飲み放題の店で、店員が客に追加の飲み物について声かけした(意図:申し出) → 0レベル=「よければ何か持ってきてましょうか。」  
⇒店員は客を高くするという人間関係(立場)で配慮をしている。「よければ」→「よろしければ」 / 「お[imas]します」(謙譲語Ⅰの使用)

- 8週継続したことにより、表現する側になった際にも思考の過程が応用できる可能性がある。

★活動後アンケート… 「外にいるときに、聞いた敬語を意識して分析した」

「どんな言葉からこの敬語になったかについて知ったから、敬語を使いたいときに、0レベルから考えることができる」

活動のねらい②も期待できる

## 5. まとめと今後の課題

今後の課題: 授業実践の細かな進め方には改善の余地がある。 例) 各週で扱う敬語フレーズの数の調整など

有用性への期待: 敬語コミュニケーション分析力の向上と、表現力の向上につながる可能性

<引用文献>

高木美嘉・坂本恵・徳間晴美(2024)「生活場面の敬語を理解するための教材開発—敬語の形・目的・配慮の理解を目指して—」『2024年度日本語教育学会春季大会予稿集』pp.247-252

徳間晴美(2025)「待遇コミュニケーションの学びの過程を意識した授業実践」『待遇コミュニケーション研究』22巻, pp.178-195

福岡昌子(2019)「アクティブラーニングによる敬語指導の実践研究—場面と人間関係を意識した授業を目指して—」『三重大学高等教育研究』26号, pp.27-37